

アヲハタグループ 環境・社会報告書 2012



目 次

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
コーポレートガバナンス・コンプライアンス	3
■環境への取り組み	4
トピックス	5
地球環境とともに	8
生産 3 工場の環境負荷状況	9
■社会への取り組み	10
トピックス	11
お客様とともに	12
お取引先とともに	13
株主・投資家とともに	14
仲間とともに	15
地域・社会とともに	17
■資料編	18

編集方針

この報告書は、より多くの方にアヲハタグループの環境保全活動や社会的な取り組みを知っていただくため、コミュニケーションの一環として作成しました。写真、イラスト、グラフなどをできるだけ多く用い、「見やすく」、「分かりやすく」に留意し編集しました。構成と開示内容については、環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」を参考にしています。

なお、本報告書は、当社ホームページに掲載しています。
URL <http://www.aohata.co.jp/>

本報告書の対象範囲

【対象範囲】：主要な実績については、アヲハタグループの生産工場であるアヲハタ(株)ジャム工場、東北アヲハタ(株)、芸南食品(株)のデータを集計し記載しました。環境保全活動や社会的な取り組みに関しては、アヲハタグループ各社の内容も含んで記載しています。

【対象期間】：2010年11月1日～2011年10月31日
取り組み内容については、一部2011年11月以降のものも記載しています。

【発行月】：2012年6月

ごあいさつ

昨年は、東日本大震災や台風、タイ洪水など、自然災害による影響の大きさを改めて思い知らされる出来事が続きました。被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。このように地球環境と密接に結びついて生きる私たちにとって、環境に配慮した事業活動を展開することがCSR（企業の社会的責任）の一つであり、「サステイナブル（持続可能な）」社会の実現に繋がるものだと考えております。

今年2012年当社は、前身株式会社旗道園が広島のみかんを缶詰加工する目的で1932年に創業してから、お蔭様で80周年を迎えました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援、ご愛顧の賜物と感謝致しております。当社は創業以来「缶詰は中身が見えないから、これを製造する人は正直者でなくてはならない」の信念のもとに、常に正攻法を基本とし、アヲハタづくりに取り組んで参りました。社訓「正直・信用・和」は、この実践の中で培われ、不変の経営理念として、社員一人ひとりの心の中にしっかりと定着しています。

CSRへの取り組みについても、「いつも『正直』であること」が原点にあります。「素材の持つ魅力をお客様にお届けすることで、豊かな食生活と健康に貢献すること、そして、妥協することなく社訓・社是の実践に取り組むこと」これが、当社グループの社会的使命であり、その為にも常に『正直』であり続けたいと考えています。

また、今年は新しいPR施設「アヲハタ ジャムデッキ」を4月5日にオープンしました。

工場見学者の受け入れやジャムづくりが体験できる施設で、アヲハタジャムの特徴や当社の取り組みなどを紹介するコーナーも設けております。工場見学やジャムづくり体験を通して、ジャムに関する理解を深めていただき、これまで以上にお客様との絆を強めていきたいと考えています。

本報告書を通じて当社グループの環境や社会に対する取り組みをご理解いただき、皆様のご意見やご感想を賜れば幸いです。



2012年6月
アヲハタ株式会社
代表取締役社長 野澤栄一

経営理念・経営方針

社訓

1. 正直
1. 信用
1. 和

社是

1. 安全と衛生を第一とすること
1. 最高の品質を追求すること
1. 生産性の向上を図ること

経営方針

当社グループは、社訓ならびに社是を経営理念の核に置くとともに、創立 60 周年にあたる平成 20 年を機に具体的なありたい姿として、以下の長期ビジョン 2018 を制定しました。
この長期ビジョンの実現を通してより魅力ある企業を目指してまいります。

ビジョン 2018

我々、アヲハタ株式会社は農産加工を原点に持つ会社として、その社会的使命を「素材の持つ魅力をお客さまにお届けすることで、豊かな食生活と健康に貢献すること、そして、妥協することなく社訓・社是の実践に取り組み続けること」と認識し、2018 年に向けた目標を以下のとおり掲げます。

「お客様の求める価値の実現」	技術にこだわり、お客様の求める価値を実現しよう
「海外展開」	栽培と農産加工技術をもとに、世界に展開しよう
「人の育成」	一人ひとりが成長し、企業力を高めよう
「社会的責任を果たす」	社会の要請に、誠実に対応しよう

私たちが目指す人間像

「正直」を実現するためには、“勇氣”が必要です。

“勇氣”とは、失敗を恐れずに困難に立ち向かうことであり、その結果、もし自分が失敗したり間違ったりしたときにはその失敗や間違いを素直に認めることができること、そして人が間違っているときに間違っていると素直に指摘できることです。

また、食品企業としての「信用」を守るためには“清潔”で“誠実”なことが必要です。

「和」を実現するためには人に対する“愛情”と何が本当に重要かを判断するための“知識”が必要です。

私たちは、「正直で勇氣のある人」、「清潔で誠実な人」、「愛情と知識を大切にしている人」を目指します。

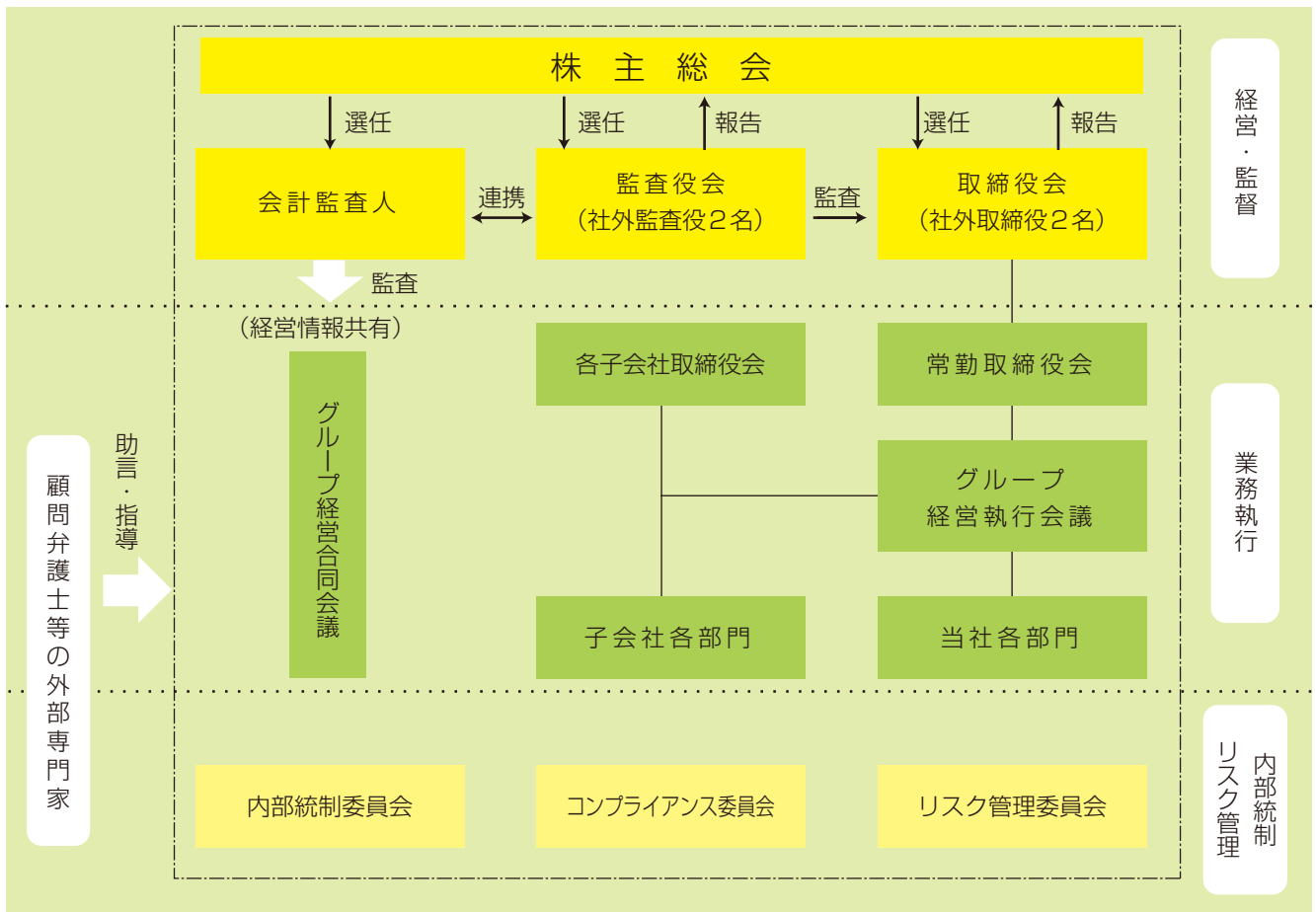
コーポレートガバナンス・コンプライアンス

コーポレートガバナンス

当社グループは、社訓「正直・信用・和」を経営の根幹に置き、「缶詰は中身が見えないからこそ正直者がつくらなければならない」という信念のもと遵法精神に基づき誠実で透明性の高い会社運営を実践してまいりました。

今後も効率的な経営によって企業価値の最大化を図り、経営上の組織体制や仕組み・制度などを整備するとともに、企業の持続的な発展のために不可欠なコンプライアンス体制の整備や、環境保全活動、地域・社会貢献活動などに取り組み、顧客、株主、取引先、社員、地域・社会の人々から信頼と満足を得られる魅力ある企業づくりを進めてまいります。

なお、会社の機関・内部統制の関係は以下のとおりです。



コンプライアンス

当社グループでは、役職員が法令・定款および社訓・社是を順守した行動をとるための「アラハタ行動規範」を制定し、周知徹底を図っています。

また、法令・定款等に適合した企業行動・組織運営をおこなうための体制を整備するため、コンプライアンス規程を制定し、代表取締役を委員長とするコンプライアンス委員会においてグループ全体のコンプライアンスへの取り組みを推進し、役職員に対するコンプライアンス教育をおこなっています。

なお、コンプライアンス上の問題の未然防止および早期発見と適正な処置をおこなうため、内部通報制度「アラハタグループ コンプライアンス 110 番」を設け、通報・相談窓口を社内と社外に複数設置することにより、情報の確保と適切かつ迅速な対応に努めています。

環境への取り組み

アヲハタグループ環境方針

アヲハタグループは、瀬戸内海沿岸にある風光明媚な広島県竹原市や、最上川が流れる自然豊かな山形県大石田町に立地し、主にジャム類や調理食品などの食品の製造・販売を行う企業グループとして、環境保全活動を社会的責任と理解し、地域・社会から信頼される事業活動を進めてまいります。

- (1) アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスに係わる環境関連法規・規則・協定およびアヲハタグループが同意するその他の要求事項を順守します。
- (2) アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (3) アヲハタグループは、環境目的・目標を設定して、全構成員で環境保全に取り組むとともに定期的な見直しをします。
- (4) 以下の項目を本来業務の目標管理と連動し、環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ①事業活動におけるエネルギー消費量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減、再利用再資源化を推進し、高度処理に努めます。
 - ③アヲハタグループ全体の環境保全諸施策を計画推進します。
 - ④地域の環境保全活動を積極的に推進します。
- (5) 環境方針は、全構成員に配布し周知します。
また社外にも開示します。

トピックス

本報告書対象期間中の環境への取り組みを「省エネルギー」「省資源」の観点からトピックスとして取り上げました。

省エネルギー（節電）

2011年3月に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故にともない、電力使用制限令が出されました。グループでも対象エリアにある東北アラハタをはじめ、各職場で節電対策のアイデアを出し、取り組みました。

【ジャム工場】



更衣室の空調のON&OFFを年間出勤スケジュールに合わせ自動稼働させる切り替え装置を導入しました。従来より、きめ細かい管理をおこなうことで、より一層の節電に役立っています。



太陽の西日が当たりやすい窓にペアガラスを導入しました。断熱効果に優れているため、空調の節電に繋がります。



使用頻度の低い通路の照明に、人感センサーを取り付けました。人が通る時だけ点灯するので、余分な電力を使いません。



節電の注意喚起表示シールをパソコンやプリンタなどの事務機器に貼付し、従業員一人ひとりの意識を高めるよう取り組みました。

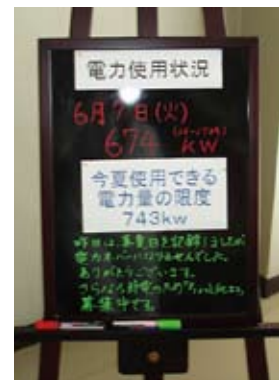
【東北アラハタ(株)】



事務所および食堂の空調をインバーター式から蓄熱エアコンへ変更しました。工場の調理ラインの空調も新規に入れ替え、合わせて、年間32,221kWhの電力量が削減できました。



工場には製品を搬送するためのコンベアを設置しています。常時動かすのではなく、製品が流れてきたときだけ、コンベアを動かす様に制御を変更し、節電しました。



会社の電力使用状況を職場に掲示しました。また毎日、お昼に構内放送にて午前中の電力使用量と使用量ピークの予想時間帯及び節電ワンポイント情報等をお知らせしました。

トピックス

省エネルギー（節電）

【芸南食品(株)】

節電対策として照明器具を省エネタイプに変更しました。2灯分の明るさを1灯で、ランプ寿命も従来品の1.5倍長い蛍光灯を導入しました。

F1包装場は65本、事務所は44本変更しトータル約2.4kwの電力消費量を削減。事務所は明るさセンサー付きタイプで適切な光に自動調整し、さらなる省エネ効果を期待できます。

ホールは42本をLED灯に変更し約1.3kwの電力消費量を削減しました。



▲事務所には明るさを自動調整するタイプの蛍光灯を導入



▲食堂も兼ねるホールには電力消費量の少ないLED蛍光灯を導入

一部のコンテナ冷蔵庫を屋外に設置していましたが、新しい冷蔵庫に切り替え、屋内（工場内）に設置しました。電気使用量が、年間約25,000kWh削減できます。



本社エリア

オフィスで取り組める節電として、照明器具と空調の入れ替えをおこないました。

照明は省エネタイプの蛍光灯やLEDへ切り替え、また、電力需要の高まる夏場は、支障のない範囲で照明を消して過ごしました。

空調はオフィスの中でも、かなり多くの電力を使用する機械です。年数が経過した切り替え時期の空調を高効率のタイプに変更し、節電の効果が上がりました。

各職場でゴーヤビズ

毎年、夏場に各職場でゴーヤを育て、緑のカーテンで節電効果を高めています。



トピックス

省資源の取り組み

●びんの軽量化

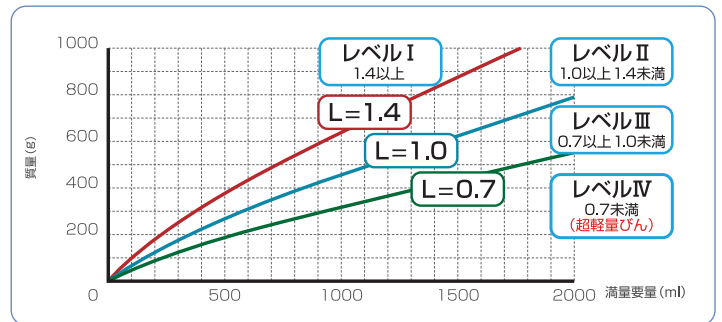
2012年春発売の「アヲハタ 55 ジャム」シリーズの大容量タイプに軽量びんを採用しました。この軽量びんは、日本ガラスびん協会が定義した軽量度指数L値が0.81となります。

(L値 = 0.44 × ガラスびん質量 (g) ÷ 満量容量 (ml)^{0.77})

また、軽量化だけでなく、点字の表示やキャップの開けやすさの工夫など使いやすさも考慮しており、日本ガラスびん協会が主催する「ガラスびんアワード2011」で機能優秀賞に選出されました。



「アヲハタ 55 ジャム 大容量タイプ」シリーズ



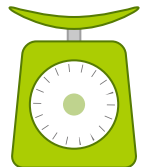
●パウチの薄肉化

「キューピーやさしい献立」シリーズ用パウチの最内層の薄肉化 (70 μm ⇒ 50 μm) をおこないました。この取り組みにより、年間約 6.4 トンの省資源となります。



「キューピーやさしい献立」シリーズ

パウチ素材削減量
約 6.4 トン/年



●カートン、内箱のサイズ変更

「キューピーあえるパスタソース」の箱サイズを変更しました。

箱サイズが小さくなったことで、年間約 25.8 トンの省資源となります。

(内箱; 67 g/枚 ⇒ 61 g/枚 外箱; 470 g/枚 ⇒ 408 g/枚)

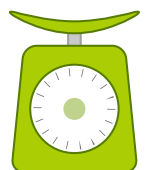


▲変更後の内箱 削減:6g/枚



▲変更後の外箱 削減:62g/枚

資源削減量
約 25.8 トン/年



地球環境とともに

当社は、自然の恵みである農畜水産物を加工し、製品づくりをおこなってきました。また、当社創業の地であり、本社・ジャム工場所在地である広島県竹原市忠海は、瀬戸内のほぼ真ん中に位置し、風光明媚な土地です。恵み大きい自然、地球に感謝し、その恩恵を永遠に享受できるよう、環境保全活動には積極的に取り組んできました。この章では、環境について当社グループの取り組みをご紹介します。

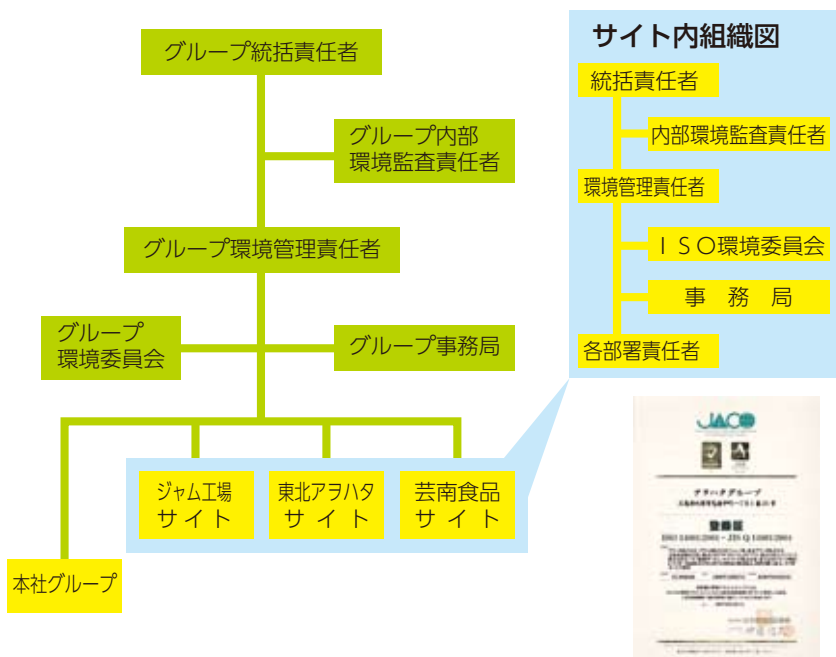
ISO 14001 アヲハタグループ統合認証

1999年、アヲハタ(株)ジャム工場でISO14001を認証取得し、その後連続して各生産工場および本社部門全てで認証取得しました。

また、アヲハタグループ全体の環境マネジメントシステムの更なる向上を図るため、2007年6月に4サイトの統合をおこない、10月に「アヲハタグループ」として認証を取得しました。

各サイトで同じ方針のもとに運用し、効率良い環境保全活動を推進しています。

ISO14001 アヲハタグループ組織図



▲認証登録証

2011年度の環境目標と実績

課題・テーマ	項目	管理指標	基準年度	2011年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	CO ₂ 原単位	2010	100%以下	101.2%	△
	エネルギーの削減	原単位	2010	99%以下	100.7%	△
資源の有効利用	使用水の節約	原単位	2010	100%以下	101.2%	△
	排出物の削減	排出量	2010	100%以下	95.5%	○
循環型社会の形成	排出物の再資源化の向上	再資源化率	2010	100%以上	101.2%	○
	排出物の有価率の向上	有価率	2010	100%以上	102.5%	○

※自己評価の基準（目標に対し） 10%以上達成：◎ 10%未満達成：○
5%未満未達成：△ 5%以上未達成：×

環境関連法令順守と苦情の状況

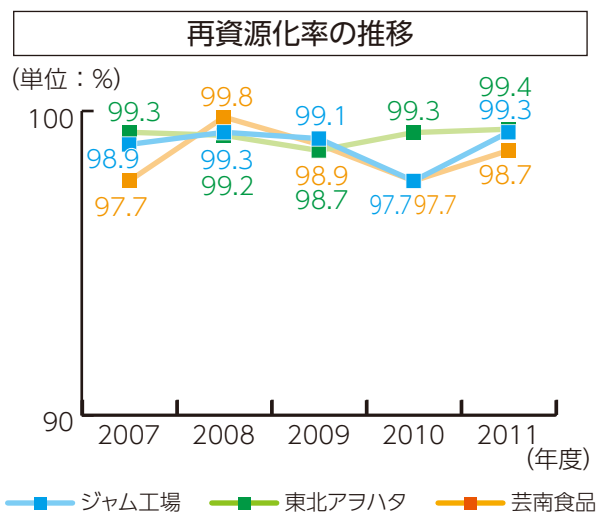
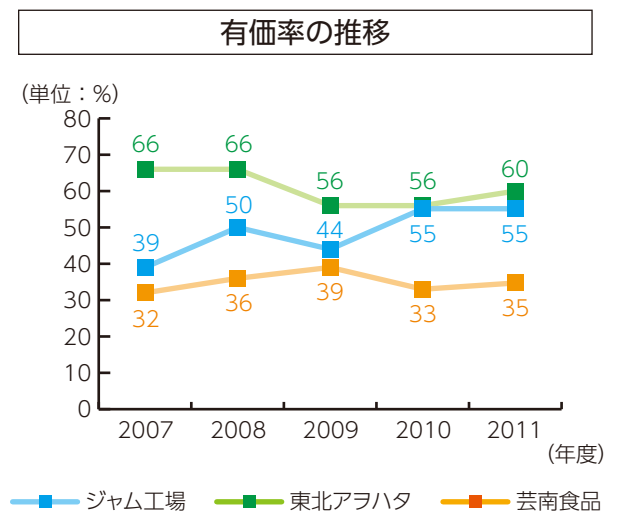
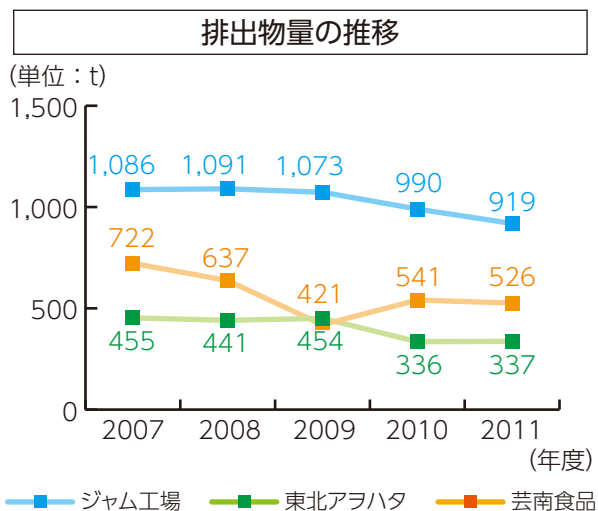
2011年度中のアヲハタグループの事業活動における環境の法令、条例等の違反行為はありませんでした。また、環境に関する苦情もありませんでした。

生産3工場環境負荷状況

生産3工場環境負荷 (2011年度)



再資源化の状況 (2011年度)



社会への取り組み

いつも「正直」であること…。

アヲハタグループは創業以来、瀬戸内の風土に生まれ、
社訓「正直 信用 和」を基本として事業を展開してきました。
今後も、良心のこもった最良の食品を提供する使命のなかで、
当社グループに関わる方々に対して常に「正直」であり続けたいと思います。



トピックス

本報告書対象期間中の社会への取り組みをトピックスとして取り上げました。

東日本大震災の被災地へ支援活動をおこないました

当社グループでは、東日本大震災発生直後から各職場に募金箱を設置し、従業員より募金を募りました。その金額に会社がマッチングをおこない、「アヲハタグループ各社従業員一同」として寄付をしました。

その他会社としては、義援金の寄付のほか、被災地の学校等への救援物資の提供などをおこないました。



▲救援物資の積み込み

地元の障害者（施設）の支援をおこなっています

当社グループの地元竹原市の「竹原市障害者自立支援協議会」の「就労支援ワーキンググループ」に参加し、就労支援事業所の自主製品（食品）の製造販売について、要請に応じ、衛生管理や製造等に関するアドバイスをいただいております。

また、地元障害者施設の後援会活動にも参加しております。



▲地元のイベントにて製造した食品の販売をしている様子

株主優待品に指定障害者支援施設の製品を同封しました

ここ数年、株主優待品の中に地元の社会福祉法人聖恵会「ワークホーム聖恵」でつくられた「押花の葉」や「たんざく箋」などを同封しており、今年は「竹原市障害者自立支援協議会」のマスコットキャラクター「かぐやパンダ」のメモ帳を同封しました。



お客様とともに

お客様の「Quality of Life」の向上に寄与する「食」の提供を中心としたさまざまな取り組みを通じて、アヲハタグループおよびその製品・サービスがお客様から愛される存在であることを目指します。

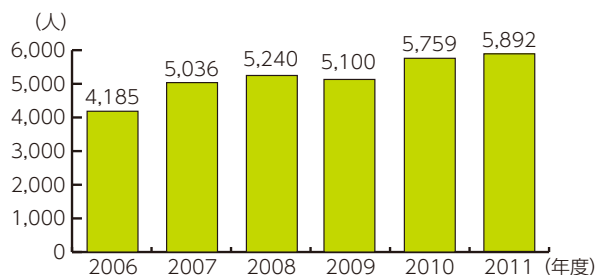
ジャム工場の見学を受け入れています

当社ジャム工場では、以前から広く一般の皆様の工場見学を受け入れています。

見学者の方には、低糖度ジャムの製造工程を中心にご案内しています。2011年度は、5,892名の方に見学していただきました。

今後も工場見学を通じて、私たちの味づくりに対する考え、工場での衛生管理、製品の特長などを知っていただきたいと考えています。

工場見学者数の推移



「アヲハタ ジャムデッキ」をオープンしました

ジャムに関する情報発信拠点として、工場見学者の受け入れやジャムづくりが体験できる施設「アヲハタ ジャムデッキ」を当社ジャム工場内に新設し、2012年4月5日にオープンしました。

アヲハタジャムの「美味しさ (Delicious)」を「発見 (Discovery)」し、「感動 (Emotion)」と「創造 (Creative)」を体験しながら、アヲハタジャムをより深く「知って (Knowledge)」いただく場所 (DECK) にしていきたいとの願いを込め、「アヲハタ ジャムデッキ」と名づけました。

アヲハタジャムの特長や当社の取り組みなどを紹介するコーナーも設けており、工場見学やジャムづくり体験を通して、ジャムに関する理解を深めていただき、お客様との絆を強めていきたいと考えています。

「アヲハタ ジャムデッキ」は、完全予約制ですので、事前にお電話にてお申し込みください。

見学ご希望日の2ヶ月前の1日（休業日の場合は翌営業日）から1週間前まで予約を受付いたします。下表の2つのコースから、いずれかをお選びください。



お問い合わせ・予約お申し込み先

●アヲハタ ジャムデッキ

〒729-2316

広島県竹原市忠海中町1-2-43

TEL (0846) 26-1550

FAX (0846) 26-1551

(予約受付時間：火～土・9:00～18:00)

更に詳しいご案内は、ウェブサイトをご確認ください。

http://www.aohata.co.jp/mc004_factory/index.html

コース名	工場見学コース	ジャムづくり体験&工場見学コース
見学可能日	火曜日～土曜日（祝日・年末年始はお休みさせていただきます。その他指定休日あり。）	
開始時間	[AM] 9:30～10:30 [PM] 13:00～15:00	[AM] 9:30 [PM] 13:30
対象	全年齢 (小さなお子様は、保護者の方同伴)	中学生以上 (小学生は保護者の方と2人1組で体験可能)
所要時間	約1時間30分	約2時間30分 (工場見学を含む)
料金	無料	1セット800円 (1セット：200g入りのビン4本)
最大人数	80名	33名 (原則として、他のグループの方と合同でおこないます。)

お取引先とともに

「良い製品」の提供のため、お取引先と共同しておこなうさまざまな取り組みを通じて、お取引先と当社グループが共に発展する関係の構築を目指します。

お取引先と共に品質をつくりこんでいます

トップ同士の交流でパートナーシップの構築

当社グループの果実原料産地は、時代とともに世界各地に広がっています。安全で安心な原料を調達するには、お取引先との信頼関係の積み重ねができません。当社グループの品質に関して、ご理解いただけるお取引先とトップ同士の交流などパートナーシップを構築しながら取り組んでいます。



▲海外原料お取引先とのトップ交流

原料から品質をつくりこむ

安全で美味しい原料を調達するため現地では育苗、栽培から一次加工*まで当社グループの技術者が出向き技術交流などをおこなっています。

*一次加工：当社でそのまま使用できるように、収穫してから洗浄、選別、凍結する工程です。



▲海外産地の生産者の方々と

品質向上のための DQC 活動に取り組んでいます

当社グループで製造する製品の原資材には農産品以外に、砂糖やペクチンなどさまざまな加工原料や、容器・ダンボールなどがあります。安全・安心な製品を生産するためには、これら原資材の品質はとても重要な要素になります。原資材の品質を維持・向上させるべく、お取引先の原資材メーカーとは品質管理情報・リスク管理情報を共有化し、お客様目線での品質向上に継続して取り組んでおります。当社ではこの共同活動を DQC と称し、原資材調達における品質追求の重要な活動と位置付けています。



▲資材メーカーとの勉強会

株主・投資家とともに

1998年、当社は会社創立50周年を記念して広島証券取引所に株式を上場しました(現在は、東京証券取引所市場第2部に上場しています)。上場企業としての社会的責任を自覚し、企業価値の持続・継続的な向上に努めます。

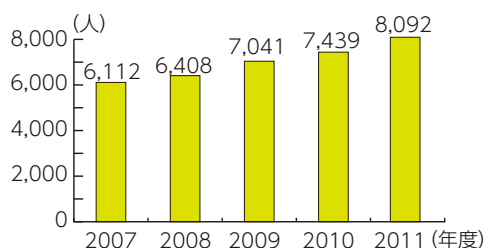
株主数の推移と株主構成

株式市場への関心の高まりや個人投資家の増加に加え、当社が2003年3月に一単元の株式数を1,000株から100株に変更したこともあり、株主数が大幅に増加しました。その後も順調に増加しています。

人数ベースの株主構成(2011年10月末現在)では、99.1%が「個人」となっています。

今後とも個人投資家を意識した株主づくり、アヲハタファンづくりに努めてまいります。

過去5年間の株主数推移



株主総会のビジュアル化と試食会などの開催

株主の皆様への営業概況の報告では、より分かりやすくするため、スクリーンに数値やグラフ、写真などを表示し、ビジュアル化(視覚化)しています。また、株主総会後には、事業内容の理解促進、株主様と役員とのコミュニケーションなどを目的として試食会と工場見学会を開催しています。



会社情報の適時適切な提供

投資家の皆様への適時適切な会社情報の開示は、健全な証券市場の根幹をなすものであると認識しています。

会社情報の適時適切な提供について、真摯な姿勢で臨むことを基本方針とし、迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切におこなえるよう社内整備の充実に努めています。

当社ホームページ上では、「投資家の皆様へ」と題するページを設け、会社情報を発信しています。

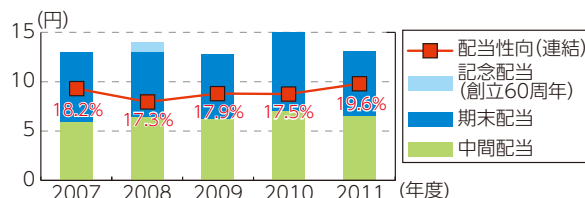


安定的な配当の継続を基本とした利益還元

株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しています。

利益配分につきましては、安定的な配当の継続を基本としつつ、連結業績および連結ベースの配当性向を勘案したうえで実施していく方針です。

1株当たり配当金と配当性向(連結)の推移



株主優待制度のご紹介

当社では株主優待制度として、毎決算期末時点(10月31日)、100株以上ご所有の株主様に対して、当社製品詰め合せを贈呈しています。

*ご参考:写真は2011年度の優待品です。



▲ 100株以上1,000株未満の株主様への優待品(1,000円相当)



▲ 1,000株以上の株主様への優待品(3,000円相当)

仲間とともに

企業が持続発展するためには、従業員が健康で、明るく、のびのびとその力を発揮することが必要です。会社と従業員が相互信頼のもとで共に高めあう企業文化の構築を目指します。

「仕事と子育ての両立支援に取り組む企業」として次世代認定マーク（2回目）を取得しました

アヲハタグループは、2008年12月に続いて、2011年9月に厚生労働大臣より次世代育成支援対策推進法に基づく認定（2回目）を受けました。

今回、第2期行動計画に掲げた目標の達成が認められ、当社の取り組みや姿勢が評価され「認定」を受けることができました。

引き続き、ワーク・ライフ・バランス（従業員の仕事と生活の調和）を支援し、働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。



▲認定マーク「くるみん」

継続的にコンプライアンスに対する意識を高めています

当社グループでは、コンプライアンスに対する意識を高めるため、継続的な取り組みをおこなっています。

「コンプライアンス・カード*」およびセクシュアル・ハラスメントを防止するためのガイドブック「セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン」を作成し、全役職員に配付しております。

○ 2011年に実施したコンプライアンス研修

テーマ：セクハラ・パワハラ防止勉強会

時期：2011年4月

対象：グループ各社・各職場の管理監督者・リーダーなど
(約55名)

また、毎年、新入社員研修において「アヲハタ行動規範」の解説・徹底をおこなっています。



▲「コンプライアンス・カード」と「セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン」を全役職員に配布しています。



▲セクハラ・パワハラ防止勉強会

*コンプライアンス・カード…「アヲハタ行動規範」の要約版および内部通報制度「コンプライアンス110番」の利用の手引きを記載したカード。

仲間とともに

アヲハタドライバー会による交通事故防止の啓発活動を展開しています

「アヲハタドライバー会」は、仲間の中から交通事故の加害者・被害者を出さないことを願い、1978年に発足しました。公私にわたり交通法規を順守し、安全運転をおこなうべく交通事故防止の啓発活動を展開しています。また、継続して社内報に会員の運転中の体験を掲載、安全運転の意識付けをおこなっています。



▲竹原警察署交通課長様を講師にお迎えして「交通安全講話」を実施



▲電子社内報の掲載記事「私のヒヤリハット体験」

安全衛生活動に取り組んでいます

社是に「安全と衛生を第一とすること」を掲げ、「働く人々の安全と健康は全てに優先する」を標榜する当社では早くから安全衛生についての取り組みを続けてきました。

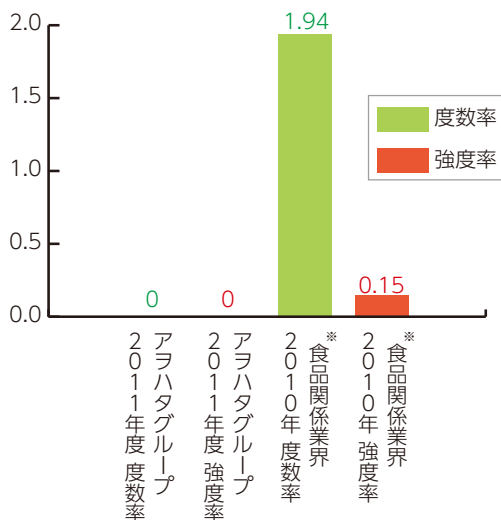
■ 度数率と強度率でみる労働災害の状況

度数率は、100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表わしたものです。

強度率は1,000のべ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重篤度を表わしたものです。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{のべ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

$$\text{強度率} = \frac{\text{労働損失日数}}{\text{のべ実労働時間数}} \times 1,000$$



※食品関係業界の度数率と強度率は、厚生労働省発表の資料「産業、事業所規模別労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数」から「食料品、飲料・たばこ・飼料製造業（500～999人規模）」の数値を引用しました。

■ 従業員の健康管理

産業医による健康相談日を設けており、社員が気軽に相談ができるほか、社内報等において健康関連の記事を掲載し、労働衛生週間の際には講演会を開催するなど啓発活動を展開しています。

また、メンタルヘルスに関しては精神科の医師と嘱託医契約を結び、専門的な見地からアドバイスを得ています。



▲産業医を講師に招きメンタルヘルスについての勉強会を開催



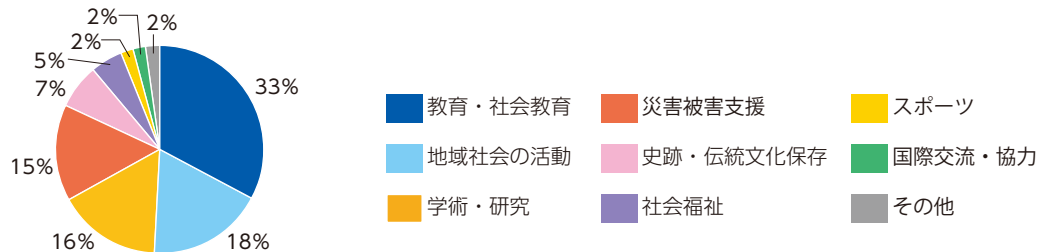
▲社内報で安全・衛生の話題を提供

地域・社会とともに

地域に根ざした企業であることを自覚し、共に持続的に発展するために地域・社会から好ましい存在として信頼され、より良い企業市民となることを目指します。

継続的に地域・社会貢献活動に取り組んでいます

当社グループの2011年度社会貢献活動関連支出額は、6,269千円、連結経常利益比率は、0.7%でした。



アヲハタ奨学金基金への寄付

創業の地であり本社所在地でもある広島県竹原市で、当社グループからの寄付金をもとに社会に貢献できる人材を育成することを目的として、2001年9月に「アヲハタ奨学金基金」が設立されました。

この制度は、大学に進学を予定している人のうち、「本人または保護者が竹原市に居住している」「学力優秀である」「経済的理由により、修学が困難である」という方を対象とした給付型の奨学金制度です。

設立後も毎年継続的に本基金へ寄付しています。

職場体験学習の受け入れなど

地域の中学校をはじめ、大学の学生さんが働くことを体験する職場体験学習を積極的に受け入れ、当社工場での生産実務を経験していただいています。

また大学から、授業の一環として講義の依頼をお受けし、社員を講師として派遣して、ジャムづくりの講義と実習をおこなっています。

エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として「エコキャップ運動」（ペットボトルのキャップ分別回収）に地元の社団法人竹原豊田法人会様と共に取り組んでいます。キャップの再資源化の促進によりCO₂の発生が抑制できるとともに、その売却益で世界の子供達に「ワクチン」を届けることができます。2011年は合計26kgのキャップ（ワクチン換算約13本分）をお届けしました。

社員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう支援しています

当社グループでは、間接的な社会貢献施策の一環として、社員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう支援しています。

支援策の一つは、「ボランティア休暇制度」で、社員が「環境保全活動」「地域社会活動」「社会福祉活動」などのボランティア活動に参加する場合、年間7日間のボランティア特別休暇を取得することができるという制度です。

もう一つは、「ボランティア活動に関する情報提供」で、近隣のボランティア情報を収集し、掲示板や社内報などを活用して広く社員に提供しています。

また2009年5月からボランティア活動などに関する「ポイント制度」をスタートさせ、社員がボランティア活動へ参加しやすい環境づくりをおこなっています。



▲地元河川の清掃活動に参加した時の様子

集計範囲：アラハタグループ生産3工場

対象期間：2010年11月1日～2011年10月31日

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

環境保全コスト（事業活動に応じた分類）

当期の環境保全設備投資額は、37,676千円となりました。当期の設備投資の主要なものとしては、全工場の省エネ対策工事、ジャム工場・芸南食品(株)の排水処理設備増強、東北アラハタ(株)の歩留改善設備の更新などです。

当期の費用額は、137,142千円で前年度と比較すると13,955千円(9.2%)減少しています。

(単位：千円)

分類	主な取り組みの内容	2011年度		2010年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト		37,676	102,748	19,071	120,160
内 訳	(1) - 1 公害防止コスト	6,946	61,613	7,373	66,521
	(1) - 2 地球環境保全コスト	22,329	6,014	4,791	10,676
	(1) - 3 資源循環コスト	8,401	35,121	6,907	42,962
(2) 上・下流コスト	容器包装材の再商品化義務費用	0	27	0	21
(3) 管理活動コスト	ISO14001費用、構内美化緑化費用	0	32,405	0	29,096
(4) 研究開発コスト	容器の軽量化研究人件費	0	1,543	0	1,440
(5) 社会活動コスト	環境保全団体等への寄付	0	419	0	380
(6) 環境損傷対応コスト	なし	0	0	0	0
合 計		37,676	137,142	19,071	151,097

環境保全対策に伴う経済効果（実質的効果）

排出物のリサイクルによる売却益は市況の変化により前年比4.9%減の3,659千円で、費用の節減効果が28,308千円となり、前年比10.8%減少しました。

(単位：千円)

効果の内容		金額 (2011年度)	金額 (2010年度)
収 益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクル又は使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	3,659	3,849
費用節減	排水処理費用の削減	7,511	7,375
	省エネルギーによるエネルギー費の節減	8,093	11,486
	省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の節減	9,045	9,039
	容器包装等の低環境負荷化のための追加的取り組み	0	0
合 計		28,308	31,749

環境保全効果

環境保全効果については、総エネルギー投入量は155kℓ(3.2%)、水資源の投入量は5,745m³(1.2%)、二酸化炭素は416t-CO₂(3.6%)増加しました。製造工程の改善や生産効率の向上を進めていますが、震災の影響により多品種少量品目が多くなり増加しました。排出物については、総排出量を96t(5.1%)削減するなど環境負荷を低減することができました。今後とも、エネルギーの消費量を含めた温暖化防止策に重点をおいた環境投資を継続しおこなってまいります。

(単位：kℓ、m³、t)

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2011年度	2010年度 (基準期間)	基準期間との差 (環境保全効果)
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(原油換算kℓ)	5,049	4,894	155
	水資源投入量(m ³)	476,508	470,763	5,745
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	11,944	11,528	416
	廃棄物等総排出量(t)	1,782	1,878	-96
	廃棄物最終処分量(t)	15	38	-23
	総排水量(m ³)	439,511	421,751	17,760
	水質(COD)(t)	11	8	3
	NOx排出量(t)	5	4	0
	SOx排出量(t)	18	29	-10

Input

Output

アヲハタ(株)ジャム工場

原料	
全原料	16,948 t
容器・包装資材	
ガラスびん	8,678 t
プラスチック容器	104 t
金属缶(蓋)	523 t
ダンボール	1,218 t
その他	0 t
エネルギー	
電力	40 千GJ
燃料	37 千GJ
用水	94 千m ³

商品(容器含む)	26,240 t
-----------------	----------

大気排出	
CO ₂	4,440 t
NO _x	0 t
SO _x	0 t
排水	
排水	100 千m ³

廃棄物	
再資源化	913 t
焼却・埋立	6 t
有価率	53 %



東北アヲハタ(株)

原料	
全原料	6,704 t
容器・包装資材	
ガラスびん	0 t
プラスチック容器	225 t
金属缶(蓋)	356 t
ダンボール	752 t
その他	4 t
エネルギー	
電力	25 千GJ
燃料	39 千GJ
用水	235 千m ³

商品(容器含む)	9,553 t
-----------------	---------

大気排出	
CO ₂	4,125 t
NO _x	3 t
SO _x	8 t
排水	
排水	222 千m ³

廃棄物	
再資源化	335 t
焼却・埋立	2 t
有価率	60 %



芸南食品(株)

原料	
全原料	4,991 t
容器・包装資材	
ガラスびん	744 t
プラスチック容器	206 t
金属缶(蓋)	30 t
ダンボール	630 t
その他	0 t
エネルギー	
電力	30 千GJ
燃料	25 千GJ
用水	147 千m ³

商品(容器含む)	8,305 t
-----------------	---------

大気排出	
CO ₂	3,379 t
NO _x	2 t
SO _x	10 t
排水	
排水	118 千m ³

廃棄物	
再資源化	519 t
焼却・埋立	7 t
有価率	35 %



①アヲハタ株式会社 ジャム工場



②東北アヲハタ株式会社 (グループ会社)



③芸南食品株式会社 (グループ会社)

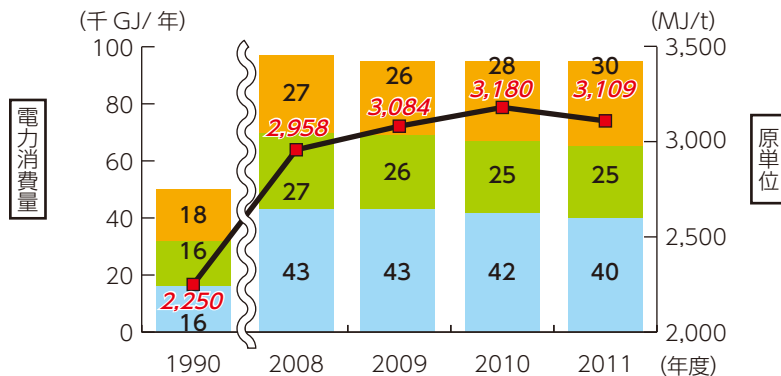


●電力消費量

2011 年度における電力消費量は下記の通りでした。

電力消費量 95 千 GJ/ 年
生産原単位 3,109MJ/ t

2010 年度に対し電力消費量は少量多品種の品目が増え 0.1% 増加しましたが、節電対策の徹底や全体の生産数量が増えたことにより原単位で 2.2% 削減しました。



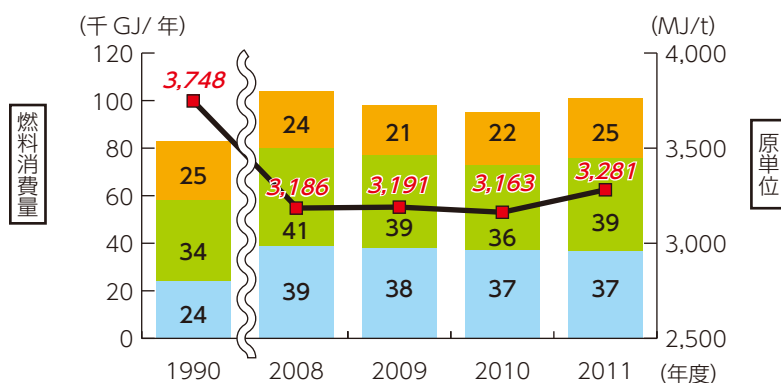
●燃料消費量

2011 年度の生産における燃料消費量は下記の通りでした。

燃料消費量 100 千 GJ/ 年
生産原単位 3,281MJ/ t

2010 年度に対し燃料消費量は 6.2% 増加、原単位は 3.7% 増加しました。

これは少量多品種の品目が増え、震災の影響により代替燃料等を使用したことによるものです。

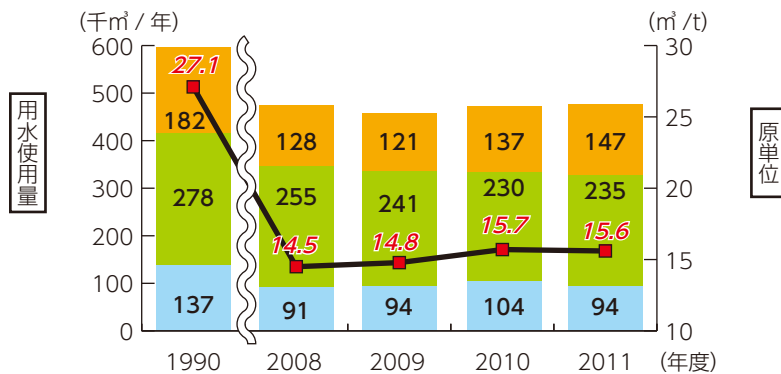


●用水使用量

2011 年度の生産における用水使用量は下記の通りでした。

用水使用量 477 千 m³/ 年
生産原単位 15.6 m³/ t

2010 年度に対して用水使用量は少量多品種の品目が増え 1.2% 増加しましたが、節水改善活動を行ったことと全体の生産数量が増えたことにより原単位で 1.2% 削減しました。



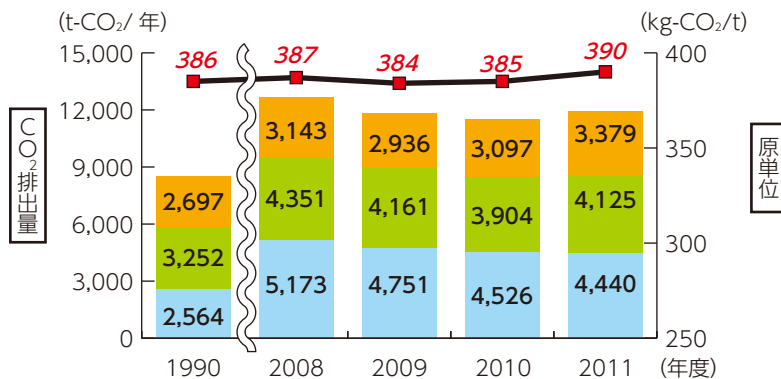
●CO₂排出量

2011 年度の生産における CO₂ 排出量は下記の通りでした。

CO₂ 排出量 11,944t-CO₂/ 年
生産原単位 390kg-CO₂/ t

2010 年度に対して CO₂ 排出量は 3.6% 増加、原単位は 1.1% 増加しました。

これは少量多品種の品目が増え、震災の影響により代替燃料等を使用したことによるものです。



■ ジャム工場 ■ 東北アヲハタ ■ 芸南食品 ■ 原単位

アヲハタ株式会社の概要 (2012年4月30日現在)

- ・商号 アヲハタ株式会社
- ・創業 1932年12月
- ・設立 1948年12月
- ・資本金 6億4,440万円
- ・事業所 本社／広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号
営業本部／東京都渋谷区神宮前六丁目10番9号
原宿董友ビル
ジャム工場／広島県竹原市忠海中町一丁目2番43号

グループ会社 (国内)

- 東北アヲハタ株式会社
- 芸南食品株式会社
- テクノエイド株式会社
- 株式会社エイエフシー
- レインボー食品株式会社

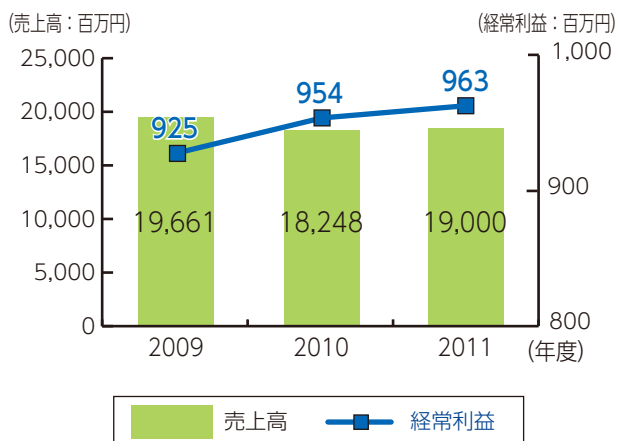
グループ会社 (海外)

- 杭州碧幟食品有限公司
- 烟台青旗農業科技開発有限公司

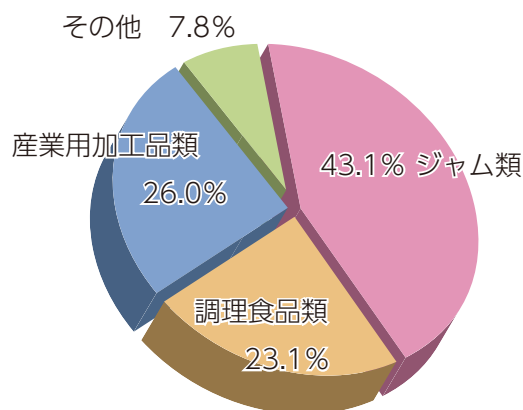
アヲハタグループは、アヲハタ(株)とグループ企業7社(国内5、海外2)で構成され、ジャム類(ジャム、マーマレードなど)、調理食品類(パスタソース、料理用ソースなど)、産業用加工品類(フルーツ・プレパレーション：主としてヨーグルト用フルーツソース)などの食料品の製造および販売を主な事業内容とし、その他に関連事業として原材料の購入販売およびその他サービス業などの事業活動をおこなっています。



売上高・経常利益推移 (連結)



売上高構成比 (連結・2011年度)



主要製品

ジャム類



アヲハタ 55 ジャム



アヲハタ トラディショナルジャム



アヲハタ Fruityfull



アヲハタ カロリー-50%カットジャム



アヲハタ ホワイトジャー

産業用加工品類



産業用果実加工品 (写真はイメージです)

調理食品類



キューピー ミートソース



キューピー Italiante



キューピー 3分クッキング
パスタのためのオイルソース



キューピー
あえるパスタソース



キューピー やさしい献立

その他



レインボー食品(株)の製品

発行・連絡先

アヲハタ株式会社 経営推進本部 総務部

〒729-2392 広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号
TEL: 0846-26-0111 FAX: 0846-26-0537
URL <http://www.aohata.co.jp/>

この冊子は、大豆インキを使用して印刷しました。
この冊子には活字の一部にユニバーサルデザイン書体を使用しています。